# 数　　学

１～５ページ

## 注　意

1. 試験開始の合図があるまで，この問題冊子を開いてはいけません.
2. 試験開始後，ただちにページ数を確認し，落丁や印刷の不鮮明なものなどがあれば申し出なさい.
3. 解答は，別に配られる解答用紙の所定の場所に記入しなさい.
4. 解答時間は**75分間**です.
5. 受験番号を，解答用紙の所定欄に記入しなさい.
6. 試験終了後，**解答用紙のみを提出しなさい**．問題冊子は**持ち帰りなさい**.

**1**　以下の設問 (1) ～ (8) については，答えだけを解答欄に書きなさい．

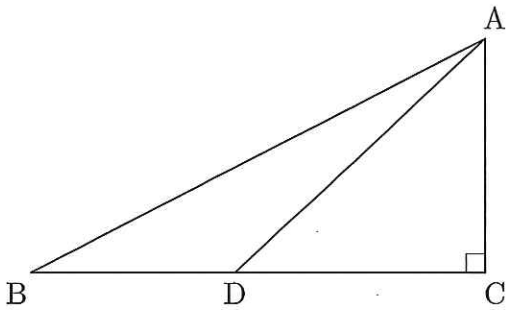
(1)　つぎの式を計算して簡単にしなさい．

$$2 \times 8^{-\frac{1}{6}} - \frac{2^{-\frac{1}{2}}}{\left(\sqrt{2}+1\right)^3} + 2^{-\frac{5}{2}} \log_2 8$$

(2)　$a$ は $a \geqq -3$ を満たす定数とする．放物線 $y = 3x^2$ と直線 $y = 2ax + 2a + 1$ が異なる 2 点を共有するような $a$ の値の範囲を求めなさい．

(3)　$xy$ 座標平面上に点 A(0, 5) と点 B(8, 2) をとる．$x$ 軸上に点 P を，A, B からの距離の和 AP + BP が最小になるようにとるとき，P の $x$ 座標を求めなさい．

(4)　AC = 2，∠ABC = 30°，∠ACB = 90° の直角三角形 ABC において，辺 BC 上に点 D を CD = 2 となるようにとる．三角形 ABD の外接円を描いたとき，A と D を端点とし三角形 ADC の内部を通る弧 $\overset{\frown}{\mathrm{AD}}$ の長さを求めなさい．



(5)　実数 $x$，$y$ は 3 つの不等式 $y \geqq 2x^2$，$y \leqq 3x+3$，$4x+y \leqq 17$ をすべて満たすとする．$x+y=k$ とおくとき，$k$ のとり得る値の範囲を求めなさい．

(6)　原点 O の座標空間に四面体 OABC があり，$\overrightarrow{\mathrm{OA}}=\vec{a}$，$\overrightarrow{\mathrm{OB}}=\vec{b}$，$\overrightarrow{\mathrm{OC}}=\vec{c}$ とする．線分 OC の中点を D とし，線分 AB を 2 : 3 に内分する点を E とする．線分 OE の延長線上に点 F を $\overrightarrow{\mathrm{OF}}=5\overrightarrow{\mathrm{OE}}$ を満たすようにとり，D と F を線分で結ぶとき，DF と四面体の底面 ABC との交点を G とする．このとき，$\overrightarrow{\mathrm{OG}}$ を $\vec{a}$，$\vec{b}$，$\vec{c}$ を用いて表しなさい．

(7)　任意の自然数 $n$ とある自然数 $a$ について，

$3^{2n}-1=a(1+9+9^2+\cdots+9^{n-1})$ が成り立つことに注意すると，$3^{120}+7$ は $a$ の倍数であることがわかる．このとき $\dfrac{3^{120}+7}{a}$ の桁数を求めなさい．ただし，$\log_{10}2=0.3010$，$\log_{10}3=0.4771$ とする．

(8)　原点 O の座標平面において，双曲線 $\dfrac{(x-2\sqrt{2})^2}{6}-\dfrac{y^2}{2}=1$ 上の点 P から直線 $x=a$ に下した垂線を PH とし，$k=\dfrac{\mathrm{PH}}{\mathrm{OP}}$ とおく．点 P の位置に無関係に $k$ の値が一定となるときの $a$ の値と，そのときの $k$ の値を求めなさい．

**2**　箱の中に，数字 $-1$，1，2 がそれぞれ 1 つずつ書かれた 3 枚のカードが入っている．異なるカードには異なる数字が書かれている．この箱の中から 1 枚のカードを取り出し，カードに書かれた数字を記録して箱に戻すことを $n$ 回繰り返し行うとする．このとき，記録された $n$ 個の数字の総和を $S_n$ で表す．ただし，1 枚のカードを取り出す事象はどれも同様に確からしいとし，(1)，(2) については答えだけを解答欄に書きなさい．

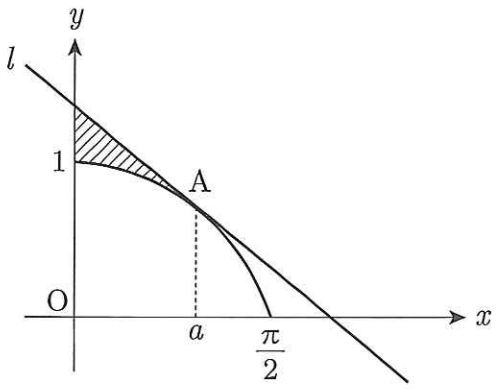
(1)　$n=3$ とする．$S_3=2$ となる確率を求めなさい．

(2)　$n=6$ とする．$S_6=2$ となる確率を求めなさい．

(3)　$m$ を自然数とし，$n=6m$ かつ $S_n=2$ となる場合を考える．$-1$，1，2 が書かれたカードを取り出した回数を，それぞれ，$x$，$y$，$z$ で表すとき $x$，$y$，$z$ がとり得る値の組 $(x,\ y,\ z)$ はいくつあるか．$m$ を用いた式で答えなさい．

**3**　座標平面上に曲線 $y=\cos x\left(0 \leqq x \leqq \dfrac{\pi}{2}\right)$ を描き，この曲線上に点 $\mathrm{A}(a,\ \cos a)$，$\left(\text{ただし，}0<a<\dfrac{\pi}{2}\right)$，をとる．この曲線上の点 A における接線を $l$ とし，曲線と $l$ と $y$ 軸で囲まれる図形(図の斜線部分)の面積を $S(a)$ で表す．以下の問いに答えなさい．ただし，(1)，(2) については答えだけを解答欄に書きなさい．

(1)　$S(a)$ を求めなさい．




(2)　$\displaystyle\lim_{h\to 0}\frac{\cos h-1}{h^2}$ を求めなさい．

(3)　$h>0$ を $0<a-h<\dfrac{\pi}{2}$，$0<a+h<\dfrac{\pi}{2}$ を満たすようにとる．つぎの極限値を求めなさい．

$$\lim_{h\to 0}\frac{1}{h^2}\left(S(a+h)+S(a-h)-2S(a)\right)$$

**4**　関数 $f(x) = e^{-x-1}$ について，以下の問いに答えなさい．ただし，$e$ は自然対数の底を表す．

(1)　方程式 $x = f(x)$ はただ 1 つの解をもつことを証明しなさい．

(2)　(1) の方程式の解を $\alpha$ で表す．数列 $\{a_n\}$ を

$a_1=1, \quad a_{n+1}=f(a_n) \quad (n = 1, 2, 3, \cdots\cdots)$

により定める．このとき，はさみうちの原理を用いて $\lim_{n\to\infty} a_n = \alpha$ が成り立つことを証明しなさい．